

## 長野市総合計画審議会作業部会 第9回産業部会 議事録（概要）

月日 平成 18 年 5 月 9 日（火）

時間 午後 9:30～

場所 第一委員会室

<基本計画体系案、たたき台について>

事務局；資料の説明

部会長；まず全体を通じて質問があればお願いしたい。

部会員；全体としてはよくできている。

部会員；よくまとまっているが、役所言葉が多い。市民が読むかどうか。

事務局；審議会でも用語の使い方など、「わかりやすさ」に関する指摘がある。全体で調整したい。主な取組は今後もう少し表現を膨らませていく。また、今は注釈がついてないが、専門用語には最終的に注釈をつけたい。

部会員；この計画は最終的に誰がやるのか。

事務局；市民とともに進めていくが、基本的には行政が実行していくようになる。主な取組には今後担当課名を入れていきたい。

部会員；指標はいつ決めるのか。

事務局；施策内容の枠組みについて了承が得られる7月頃に指標を設定していきたい。

部会員；市民にこの計画をどう示していくのか。配布はするのか、支所に置くのか。

事務局；基本構想、基本計画をセットにして冊子にする。概要版として配布する分もあるが、広報やネットでもお知らせする。市民への情報提供方法は今後検討する。

部会員；各家庭に配るのであれば、これでは分かりにくい面もある。

部会長；全体として今後考えてほしい。では、資料を分野ごとに見ていきたいが、分量も多いので、今回と次回で見ていきたい。内容や表現も含めてお願いしたい。

（観光分野）

部会員；主な取組の内容はいいが、いざやるとなると地域ではなかなか動いてくれないのが現状。それをどうやってやっていけばいいのか、方策があるのか。

専門部会員；例として「エコール・ド・まつしろ」のお話をする。地元も始めは消極的だったが、色々な魅力を顕在化させて情報やイベントとして発信していったところ、地域の人も誇りを持ち始めた。おもてなしの心は強制できないが、外から注目されたり誉められたりすることで、自然とできてくる。他の地域でも同様の取組ができればと考えている。

部会員；「モデル地域の選定と集中的な事業展開」はどのようにやっていくのか。

専門部会員；来年は大河ドラマ「風林火山」で川中島の関係と、戸隠を中心としたい。2008

年は飯綱と善光寺、2009 年は御開帳の善光寺。それと鬼無里の植物園に行く林道が開設するので、御開帳と鬼無里をセットで提案したい。2010 年は海津城 450 年周年で再び松代と考えている。

部会員；年度別の集中ということか。

部会員；今説明があった具体的な事業の内容を基本計画に書いてはどうか。

事務局；基本計画レベルでは事業展開までは書けない。

部会員；市民としては具体的に知りたい。インターネットにアップする時にその辺も示せないか。

事務局；総合計画の中で3年間の取組を示す実施計画も作っていくので、合わせて示していきたい。

部会員；善光寺周辺は連休中大渋滞し、せっかく来た人に悪い印象を与える。他の分野かもしれないが、観光のための道路やインフラの整備があった方がいい。

専門部会員；パークアンドライドの取組はしている。駐車場は善光寺の周辺に作っても普段は空き地のようになってしまう、難しい面がある。

部会員；確かに駐車場は善光寺が込み合う年間30日あればいい。中央通りに駐車場を造ることは街を壊すことになるので、地下駐車場というような大きな考えが欲しい。

専門部会員；地下の話は昔から出るが、ハードルの高い話ではある。

部会員；京都の世界遺産を見ると、善光寺は宿坊を見ても世界遺産にならない訳はないと感じる。どこか他の部会で世界遺産について触れているか。

事務局；教育・文化分野の文化財の中で世界遺産登録に向けた支援を記載している。

部会員；駐車場や道路はどうか。

事務局；駐車場は観光として記載はない。道路については観光拠点を結ぶ道路ネットワークとして都市整備分野で記載している。

部会員；専門部会で検討してほしい。

部会員；中心市街地では長野大通りを南北線で造ったが、放射状に面的な整備をするビジョンを描かないと不便さは解消されず、過疎・過密の問題が繰り返される。都市構造の問題がある。

部会員；長野市は他都市に比べ3車線道路の幹線が無い。以前から指摘しているが、市内を車で抜けるのに渋滞で時間が掛かりすぎる。狭い道路を平行して造っても渋滞は解消しないので、南北、東西の道路が必要。

専門部会員；住む人がいい街と感じているところに人が集まるという結果観光という考えがある。住む人がいいと感じる街をいかに作っていくかではないか。観光地としての長野を作りましょうというのは、志が低いと思うが。

部会員；海外では発想を持ちながら再開発をしている。碁盤の目状の道路を造りアクセスを良くしている。長野は東西線が寸断されている。面的に整備していくと交通がスムーズになる。

部会員；産業部会としては今あるインフラの中で議論するしかないので、観光面からの駐車場情報の発信を載せるべきではないか。一枚の道路標識でも効果はある。

部会長；インフラ以外に意見はないか。

部会員；モデル地域の取組は、地区ごとに終わらせるのではなく、成功事例を共通化して面展開していくというのを入れてはどうか。

部会長；そのように検討していただきたい。

部会員；人づくりが大切。リーダーを見つけて予算を与えていくことが行政の仕掛けではないか。

専門部会員；人づくりも確かに大切だが、それを実現できる構造を作ることも行政としては重要。

部会員；基本施策 511 の「有形無形」という表現は不要ではないか。

専門部会員；書かなくても分かると思う。

（農業分野）

部会員；飛散農薬が問題になっている。制度改正で農薬のわずかな検出で、その地域の出荷全体がだめになる。土地交換などで農業団地化を進めていってはどうか。

専門部会員；食品衛生法の改正でポジティブ制度が施行される。今まで基準が無かった作物は農薬 0.01ppm が検出されると流通・出荷できない。ただ、農薬は記帳して追えるし、現行法で定められた農薬は残効が一定期間で減ることも知った上で農薬を使う必要があり、過敏になりすぎるべきでない。団地化はすぐには難しいが、農業公社や産地化の取組を含めて農地集約と効率化を目指しているので、目指すところではある。

部会員；農業は国土を保全する産業なので、農業と生活を結びつけるモデルを作って欲しい。農業特区は以外と少ないが、土木、建設、製造業などを含めてカンパニーを作り、農業生産に加えてレジャーも提供するような発想も必要。

専門部会員；文化としての農業をもう一度見直そうと国も考えている。農業、林業は国土を保全する産業。その意味で施策のタイトルも「農業の再生」としている。

部会員；521-02 で認証制度とあるが、市と県で同様な制度があると混乱するのでは。

専門部会員；趣旨は同じだが、市の制度では地域性、地域の魅力づくりなど、県と目的の住み分けができれば問題ないと考えている。

部会員；地域の観光づくりや産品づくりがブランド化につながる。国や県でやっても同じだが最終的には地域でやっていくことが大事。国縣市が一緒になってやらなければいけない。

部会員；住み分けというより、市のブランド化に繋がるものは積極的に県と相乗りすることも必要だ。また、担い手で株式会社の農業への参入という言葉を入れてはどうか。それにより企業の参入も促進されるのでは。

専門部会員；「多様な担い手」の部分に株式会社も入っている。これは法律にも謳い込まれ

ている。今後実施計画ではっきり打ち出せると思う。

部会員；農地の保全だけでなく、拡大という表現もあっていいのでは。

専門部会員；現状では遊休荒廃農地が 2005 年センサスでは 1,900ha、5 年前で 1,200ha と進んでいる。また道路や宅地など農地の改廃で年間 50ha が潰れていく。都市計画として乱開発にならないようにする必要がある。もう一つの問題は、農業をする人が減り、耕作放棄や相続による不在地主化があり、担い手を作ることに力点を置いている。現状では農地の拡大の状況にない。

部会員；基本施策 521 で「農業」が多用されているので整理を。施策 521-01 は「地域農業を支える」、「組織的な支援」、「農業を支える仕組み」と同じような内容が出てくるので整理を。521-03 の「地域内流通を高め」は「流通量を高め」ではないか。

部会長；今後事務局で整理して欲しい。

#### （中山間地分野）

部会員；基本的にこれでいいが、中山間地域の内容はどうしても具体性に欠ける。市が全力を挙げてやらないと中山間地域には力がない。

部会員；雇用対策に位置づけるなど、公共事業として農業をやってはどうか。そば、ジャム、ワイン、お酒など農業から産業に派生するよう公共事業でやればいい。

部会員；直接支払制度の要件を小さくできないか。5ha の面積の維持は困難だ。

専門部会員；直接支払は中山間地域の所得保障的な制度として始まったが、5 年経過の二期目から内容重視に変わってきた。制度を地域づくりに生かして元気が出てきたところもある。今は国の制度があるのでそれを使っていきたい。中山間地域は農業体験など新しい活性化の要素も出てきている。

#### （森林・林業）

部会員；山は儲からないのでやらないという面では耕作放棄地と似ている。三重県の速水（はやみ）林業で学んだ人が、飯田で森林組合が受託する森林整備をやっているという話があった。持ち主ができないなら、誰かがやるようにしなければならない。

専門部会員；長野市でも林業事業体は森林組合が主体。最近は新しい人も入っているが、町に住んで山に通っているのが現状。人材育成は難しい面もある。市では鬼無里を保全重点地域に申請している。地域指定になると全額国県市のお金で間伐作業ができ、公共事業的に整備できるようになる。経営できない人や林業をやりたい人の斡旋も市、県が絡んで進めたい。また、山は要らないから寄付をするという人も出てきており、増えてくることも予想されるが、これをどうするか困っている。

部会員；公費といっても、どんどん増えてくると困る。先程の例では組合が見積もり出して作業をしているようだった。

専門部会員；森林組合は山に入って、まず何の作業が必要かを判断し、補助制度も含めて

見積もりをするが、所有者はそれを見るとやめてしまう。単年度の収入にならないので、長期の投資をしない。

部会員；市民の財産区的な発想でクラブを作り、作業を手伝えればキノコをもらえるなど、楽しみづくりがあれば都会からも人がくるのではないか。

部会員；森林は林業としての山と、環境としての山という側面がある。寄付された森林を NPO に貸し出して自由なフィールドとして開放してはどうか。

専門部会員；市内に 11 の財産区があるが、高齢化で維持ができなくなっている。市民に向けては、森林体験で枝打ち作業とキノコ取りなど、楽しみながら森林に親しんでもらうようにしたい。

部会員；維持できない森林は市で積極的に寄付を受けてくれるのか。

専門部会員；あまり好ましくない。寄付されても公費が続くのかという問題がある。登記簿はあるが場所がどこだか分からないという話もある。

部会員；山の境界は昔から決め方があり、地域の山を知っている人が生きているうちに相談員制度など作ってやっておかないと分からなくなる。

部会長；時間が来たので、工業、商業、雇用は次回としたい。

事務局；行財政分野を含めて資料に意見があれば事務局にお寄せいただきたい。なお、この基本計画は、今後の施策の体系や方向を記述するものとなる。事業の具体的な内容は、今年度策定する産業振興ビジョンなどの個別計画に入っていくので御了承いただきたい。